

# 長浜一丁野遺跡

福岡県筑後市大字長浜所在遺跡の調査

筑後市文化財調査報告書

第 109 集

平成 25 年

(2013)

筑後市教育委員会

## 序

当地は、筑後市の最東端部、八女市に隣接した標高 18.0m 位の低位段丘上にあります。九州縦貫自動車道八女インターチェンジ改修工事に伴い、平成 23 年度に福岡県教育委員会が確認調査を実施した内容をもとに筑後市教育委員会が平成 24 年度に「長浜一丁野遺跡」として埋蔵文化財発掘調査を実施しました。

本書が、地域における文化財保護思想普及の一助となり、また、学術研究の資料として広く活用されることになれば幸いと存じます。本書の刊行にあたり、多大なご協力を賜りました関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成 25 年 3 月

筑後市教育委員会  
教育長 高巣 一規

## 例　言

1. 本書は、平成 23 年度に福岡県教育委員会が確認調査を実施した内容をもとに、筑後市教育委員会が平成 24 年度に「長浜一丁野遺跡」として実施した埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 本書に掲載した発掘調査の原因並びに調査機関等の調査に関わる経過については「はじめに」に記載する。
3. 発掘調査で出土した遺物並びに記録した図面類・写真類等は、当教育委員会で所蔵・保管を行っている。
4. 調査に用いた測量座標は、国土調査法第Ⅱ座標系（世界測地系）を基準とし、本書に示す方位は G.N. である。また、水準については T.P. を基準としている。
5. 本書に使用した図面類について、確認調査遺構実測図は岸本圭（福岡県教育庁）、小林勇作、上村英士、本調査遺構実測図は上村、小林が作成した。
6. 本書に使用した写真類について、確認調査遺構写真は岸本、本調査遺構写真は小林が撮影した。
7. 本書に使用した遺構番号は、頭に調査次数並びに種別記号を表記し、種別は以下の記号を用いた。  
種別記号：「SD - 溝」「SK - 土坑」「SP - ピット」「SX - 不明遺構」
8. 本書の執筆と編集は小林が担当した。

## 目　次

I .はじめに	1
II .位置と環境	2
III .調査成果	3
1. 基本層位	3
2. 検出遺構	3
3. 小結	5

## I. はじめに

福岡県八女県土整備事務所から九州縦貫道八女インターチェンジの改修工事について、福岡県教育委員会および筑後市教育委員会に対し遺跡の照会があり、その取扱いについて三者で協議した。協議の結果、平成23年度に福岡県教育委員会が確認調査を実施した内容をもとに、新設する道路部分について筑後市教育委員会が平成24年度に発掘調査を実施することで合意した。

当市は、平成24年4月13日付けで福岡県八女県土整備事務所と発掘調査受託契約を取り交わし、平成24年6月21日から表土剥ぎ（有限会社徳光建設へ委託）を開始、考古学的手法による遺構検出・遺構掘削・実測作業・写真撮影等を現地で行い、同年6月29日に重機による埋め戻しを完了した。整理作業は平成24年度に当教育委員会で行った。

### 【調査委託者】

福岡県八女県土整備事務所

所長

平島 孝幸

### 【調査受託者】

筑後市

市長

中村 征一

### 【調査組織】

筑後市教育委員会

総括 教育長

高巣 一規

庶務 社会教育課長

高井良 清美

社会教育係文化スポーツ係長

村上 一彦

社会教育係文化スポーツ担当

小林 勇作

々

上村 英士

々

立石 真二（非常勤一般職員）

### 発掘作業員（五十音順）

石橋香代美・井上むつ子・植田 勝子・加藤 礼子・蒲池 京子・加々良一美・河添 幸子  
隈本 千城・城崎マヨ・下川 義文・角 里子・中村 富男・中村 三男・橋本 高登  
原 秋子・堀田 武利・田島 好江・田島ヤス子・堤 義弘・三瀬美樹子・渡邊 泰子

### 整理作業員

辻 美穂・西田 富美・丸山裕見子・宮崎 彩香

なお、確認調査から報告書作成に至るまでの間、岸本圭氏（福岡県教育庁）にご指導・ご鞭撻を賜った。

## II. 位置と環境

筑後市は、福岡県の南西部、筑後平野の中央部にあたる。市域をJR鹿児島本線と国道209号線が縦断し、国道442号線が横断する。また、市南西部には一級河川の矢部川、中央部には山ノ井川や花宗川、北部には倉目川が西流する。市北部には耳納山地から派生する八女丘陵が西に延び、灌漑用の溜池が点在する。低位扇状地である東部や低地である南西部には農業水路が発達している。当市は県内有数の農業地帯であり、北部の丘陵地域では果樹園や茶畠、東部や南西部では米麦中心の田園地帯が広がる。市域地は、国道に沿って市の中心部に形成されている。

今回報告する「長浜一丁野遺跡」は、筑後市の最東端部、八女市境にあたる九州縦貫自動車道八女インターチェンジの西隣に位置し、標高18.0m位の低位段丘上に立地する。当遺跡の南方には平成23年度に実施した「長浜半屋敷遺跡」が存在し、弥生時代から中世にかけての複合遺跡が確認された。当遺跡周囲からやや目を転じてみると、当遺跡南西方には縄文時代の落とし穴が検出された「長浜鉢遺跡」、北方には縄文時代、中世の遺構が検出された「前津柳ノ内遺跡」が点在する。一方、当遺跡から北東方へ400m離れた地点より弥生時代から平安時代にかけての「室岡工業団地内遺跡」が確認されている。この遺跡は八女市域に所在しており、八女市教育委員会が平成4~7年度にかけて発掘調査を実施し、集落遺跡から検出される竪穴住居、掘立柱建物、土坑などが検出されている。弥生土器、石包丁、須恵器、土師器、鉄製品など当該期の遺物も多数出土されており、各年代における集落の中心的空間であったことが窺いできる。更に、これより東方面には弥生時代を主体とする室岡遺跡群（亀ノ甲遺跡、山ノ上遺跡、北小路遺跡、道添遺跡）、古墳時代の岡山公園古墳（円墳）、平安時代の曲田遺跡などが展開する。

### 【註】

- 「長浜遺跡」 筑後市内遺跡群Ⅱ 筑後市文化財調査報告書 第33集 筑後市教育委員会 2001
- 「前津柳ノ内遺跡」 筑後市文化財調査報告書 第55集 筑後市教育委員会 2004
- 「長浜半屋敷遺跡」 筑後市文化財調査報告書 第102集 筑後市教育委員会 2012
- 「室岡工業団地内遺跡！」 八女市文化財調査報告書 第27集 八女市教育委員会 1993
- 「室岡工業団地内遺跡Ⅱ」 八女市文化財調査報告書 第31集 八女市教育委員会 1994
- 「室岡工業団地内遺跡Ⅲ」 八女市文化財調査報告書 第44集 八女市教育委員会 1996

### 【筑後市城】

- 1. 長浜一丁野遺跡
- 2. 長浜半屋敷遺跡
- 3. 前津柳ノ内遺跡
- 4. 長浜鉢遺跡
- 【八女市域】
- 5. 室岡工業団地内遺跡
- 6. 弥五郎遺跡
- 7. 西中沢遺跡
- 8. 坊野遺跡
- 9. 野口遺跡
- 10. 道添遺跡
- 11. 曲田遺跡
- 12. 上柳遺跡
- 13. 岡山小学校遺跡
- 14. 室岡遺跡群
- 15. 岡山公園古墳

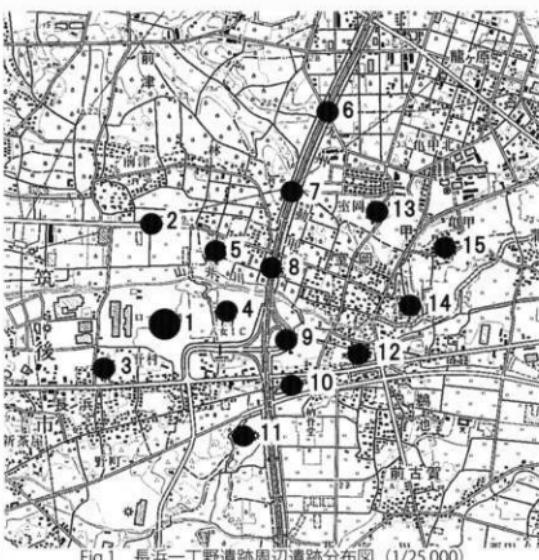


Fig.1 長浜一丁野遺跡周辺遺跡分布図 (1/25,000)

### III. 調査成果

#### 1. 基本層位

当遺跡は標高 18.0 m 位の低位段丘上にあり、地表面から 0.7 m の深さで遺構面である黄茶色粘土を確認した。地表面から遺構面までの間には厚さ約 0.4 m の客土、厚さ約 0.7 m 旧耕作土が堆積する。

#### 2. 検出遺構

##### 溝

##### 1SD1 (Fig.4, Pla.1)

東側調査区中央部で東西方向の深い溝を確認した。長さ約 4.00 m、幅 0.20 m 前後、深さ約 0.10 m を測る。出土遺物は皆無であった。

##### 土坑

##### 1SK3 (Fig.3・4, Pla.2)

東側調査区南東隅で検出した。土坑の東側は調査区外へ展開しているため全体プランは不明である。土層観察では黒灰色粘質土を基調とする埋土を確認し、遺物は出土しなかった。



Fig.3 1SK3 土層断面図 (1/40)

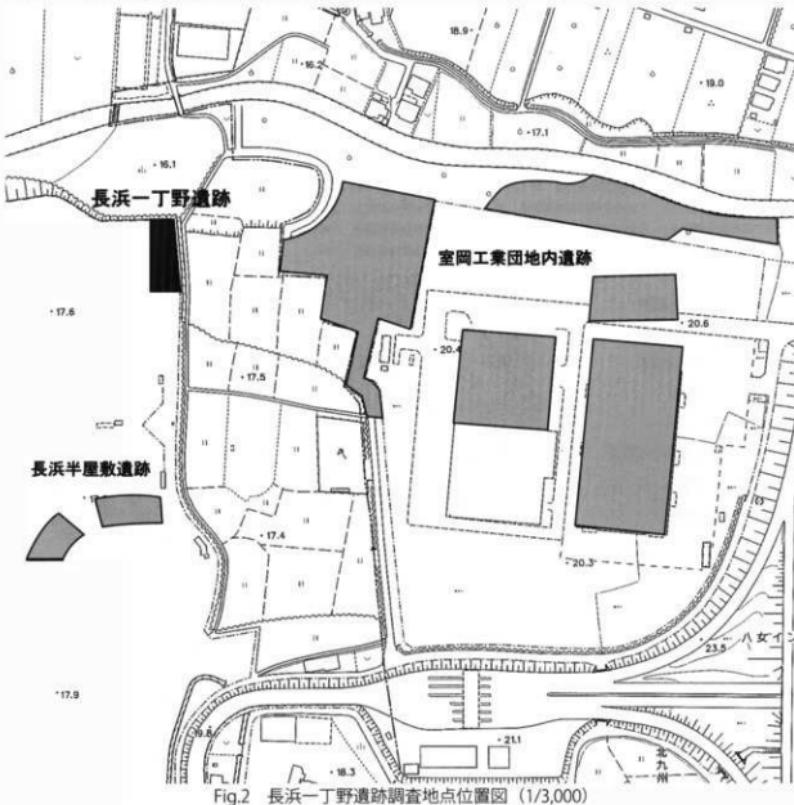
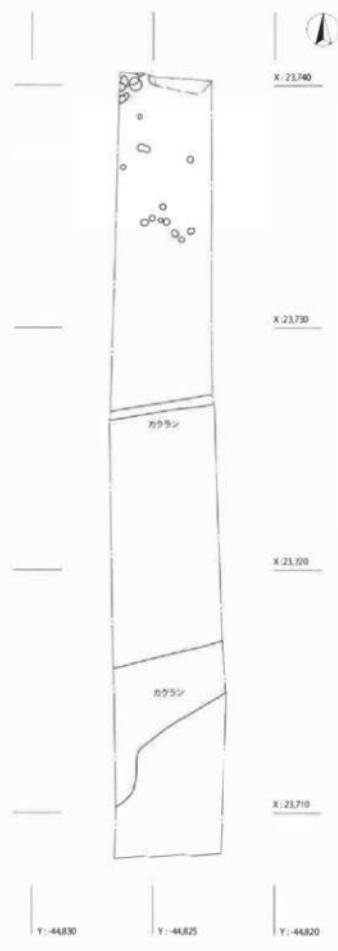


Fig.2 長浜一丁野遺跡調査地点位置図 (1/3,000)

西側調査区



東側調査区

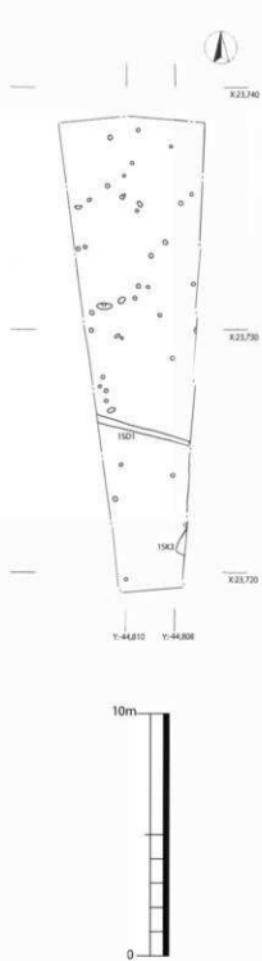


Fig.4 長浜一丁野遺跡遺構全体実測図 (1/200)

#### ピット群 (Fig.4、Pla.2)

東側調査区及び西側調査区の北部で検出した各ピットの平面プランは円形、楕円形状を呈し、深さは10cm程度と比較的浅いものが大半で出土遺物は皆無であった。柱穴、柵列状に配されるピットは存在しない。

#### 3. 小結

先述のとおり、狭小の調査区で検出した遺構は乏しく、更に出土遺物にも恵まれない状況であった。こういった悲惨な状況下において、敢えて調査成果をあげるとすれば東方の室岡工業団地内遺跡との関連性についてである。八女市教育委員会が実施した室岡工業団地内遺跡（第1～4次）は弥生～平安時代における複合遺跡で当遺跡と同じ低位段丘上に立地する。遺跡の北側を西流する山ノ井川と調査で判明した南西から北東方向に走る数条の溝に挟まれた土地空間に竪穴住居、掘立柱建物、周溝状遺構といった多くの集落関連遺構が検出されている。そのなかで、当遺跡の遺構内容は室岡工業団地内遺跡第1・2次調査区西側に展開する遺構をほぼ踏襲する状況であることから遺跡の範囲拡大に繋がった成果と解される。なお、当遺跡より更に西方へ広がるものと推測できるが、立地状況、遺構内容からみて大きく展開する可能性は低いものと思われる。



東側調査区全景（南から）



東側調査区 1SD1（北から）

Pla.2



東側調査区 15K3 (西から)



東側調査区ピット群 (南から)



西側調査区全景（北から）

長浜一丁野遺跡

筑後市文化財調査報告書

第109集

平成25年3月

発行 筑後市教育委員会

福岡県筑後市大字山ノ井 898 番地

TEL (0942) 53-4111

印刷 株式会社ヒガシ印刷

福岡県筑後市大字山ノ井 316 番地 1

TEL (0942) 53-6114